

事業番号	09 02 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室			
		実施期間	H25 ~	E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現							
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			6-2 信州のブランド力向上と発信		

## 1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	<b>【現状】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴う業務用需要の減少により一部の品目の事業者に影響が生じている。</li> <li>県産農産物の利用意向のある県内食品企業に対し、生産者等とのマッチングの機会が不足している</li> </ul>
	<b>【目指す姿】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の宿泊施設・飲食店、給食施設等が県産農畜産物の利活用拡大を図り、地域の風土や食文化に根ざした豊かな食生活が普及している。</li> <li>地域資源を活かした6次産業化の取組が各地で展開され、雇用創出や所得向上を通じて地域経済の活性化に寄与している。</li> <li>県内食品企業等が県産農産物を積極的に活用することにより、県産農産物の利用拡大と地域内経済循環が図られている。</li> </ul>
	<b>【実施内容】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物直売所等を核とした地域内消費の拡大</li> <li>学校給食等での県産食材利用拡大に向けたアプローチ</li> <li>食品産業における県産農産物の利用促進</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホテル・飲食店等での県産農産物の利用拡大</li> <li>地域資源を生かした6次産業化の取組</li> </ul>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	売上高一億円以上の農産物直売所の売上総額	億円	163	170	↑	176	↑	190	未達成
2	学校給食における県産食材の利用割合	%	45.8	49.6※	—	47.0	—	47.5	未達成
3	6次総合事業化計画認定件数	件	98	99	↑	100	↑	101	未達成
4	6次産業化事業者平均売上額	千円	8,596	9,015	↑	9,750	↑	8,600	達成
5									

  

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	108,468	110,450	118,972
	補正予算額	-44,380	188,286	195,161
	合計(A)	64,088	298,736	314,133
	うち一般財源	2,232	2,127	2,387
決算額(B)		59,921	255,351	295,654
職員数(人)		2.8	3.1	3.0

成果指標及び目標値の設定理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>直売所の機能強化等により売上高1億円以上の直売所及びその売上額を拡大するために設定。</li> <li>子ども達が学校給食を通じて、県産農産物等への理解や関心を深めるとともに、県産農産物の消費拡大を図るために設定。</li> <li>6次産業化に取り組む事業者の件数の拡大をフォローするために設定。</li> <li>6次産業化に取り組む事業者の売上の増加額をフォローするために設定。</li> </ol>
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> <li>目標は未達成となったが、地産地消フェアの開催や直売所の運営サポートの取組等により売上総額は前年度から6億円増加した。</li> <li>学校栄養教諭への意識醸成の取組により利用割合は概ね達成したが、食材の価格や数量などの調整がつかず未達成となった。 ※R2年度は新型コロナウイルス感染症による学校の負担軽減の観点から、調査回数を減らしたため参考値扱い。</li> <li>コロナ禍において計画が具体化する案件が少なかったことなどから未達成となった。</li> <li>6次産業化事業者の経営改善に向けたサポートや販売促進に向けた研修会の開催等により平均売上額は増加し、目標を達成した。</li> </ol>

主な取組	<b>✓信州・食の“地消地産”推進事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県調理師会や高校生と連携し、県オリジナル食材のレシピ開発、道の駅や飲食店でのメニュー提供</li> <li>農産物直売所の魅力づくりや運営指導のため、シンポジウムの開催や運営案内人による助言指導</li> </ul>	
	<b>✓信州農業6次産業化推進事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>6次化に取り組む事業者の経営改善支援のため、専門家による経営改善や商品力向上等の研修会を開催</li> <li>持続可能なローカルフードビジネスの創出に向けたプラットフォーム形成、クラウドファンディング活用など支援</li> </ul>	【県調理師会と高校生によるレシピ開発】 
	<b>✓県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大により、需要が落ち込んだ県産食材(牛肉、信州黄金シャモ、信州サーモン等を小中学校等の給食に提供</li> <li>県内の飲食店や直売所等での地産地産フェアの開催による販路拡大</li> <li>教育委員会と連携し、小中学校等の栄養教諭への食育活動を実施</li> </ul>	【直売所等での地産地産フェア】

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化については、新型コロナの感染拡大に伴う需要減少等の影響も踏まえ、事業者の経営改善に向けて生産、加工、販売の戦略策定・実行を支援していく必要がある。</li> <li>新型コロナの感染症の拡大による県産農産物への影響を最小限に抑える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善を目指す事業者の経営サポートを行うため、信州6次産業化推進協議会の推進員や専門家と連携して事業者の経営戦略の策定・実行を支援する。</li> <li>県産農産物の需給状況を注視し、必要に応じて地域内における消費拡大を促していく。</li> </ul>

事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室
-----	----------------------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	信州・食の“地消地産”推進事業	2,408 千円	2,237 千円	894 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	農産物直売所等を核とした地域内消費拡大事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物直売所シンポジウムの開催(1回、93人)</li> <li>農産物直売所運営案内人の選定・打合せ、案内人の派遣(2施設)</li> <li>県産農産物の地域内消費拡大に向けて、食や農業関係者、商工・観光関係者が情報交換を行うシンポジウムの開催(1回、53人)</li> </ul>	
2	学校給食等での利用拡大に向けたアプローチ	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食への利用拡大に向けて、学校栄養教諭や給食事業者への聞き取り、地場産物及び有機農産物等の使用にかかるアンケートの実施(273校)</li> </ul>	
3	県オリジナル食材の調理開発及びメニュー提供	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>県調理師会や高校生と連携し、伝統野菜を活用したレシピ開発と飲食店でのメニュー提供(11メニュー開発、3店舗提供)</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	地域食料自給圏実証実験事業	63 千円	0 千円	80 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	加工・試作品の評価	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆・小麦・馬鈴薯・豚肉の加工品の試作・開発の実施(4品、4事業者)</li> <li>加工事業者による加工品評価の実施(4品、4事業者)</li> </ul>	
2	推進会議の開催	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症感染拡大により、現地検討会及び集合による求評会の中止により未実施</li> </ul>	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	信州農業6次産業化推進事業	57,450 千円	13,451 千円	17,344 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	信州6次産業化推進協議会による支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化に取り組む対象者の経営改善戦略作成・実行に向けた総合的な支援体制の構築(7事業者)</li> <li>商品力向上や経営計画作成のためのセミナーの開催(21人)</li> </ul>	
2	6次産業化推進事業補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助事業が不採択となり事業実績なし</li> </ul>	
3	地域食農連携プロジェクト推進事業	委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域食農連携プロジェクト事務局運営支援(プラットフォームの形成(52者)、研修会の開催(9回)、戦略会議の開催(3回)など)</li> <li>ローカルフードビジネスの支援(新商品開発(えのき入りメンチカツ)及び販路開拓並びに求評の実施)</li> </ul>	

事業番号	09 02 02	細事業一覧（令和3年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	6次産業化ビジネスと食の地消地産推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業	- 千円	239,663 千円	277,336 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	学校給食への食材提供 (食育活動)	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産牛肉、信州サーモン、信州黄金ジャモ等を学校給食へ提供 (538校、410,560人)</li> <li>教育委員会と連携し、小中学校等の栄養教諭による食育活動の実施 (食育パンフレット作成・配布、126,517部)</li> </ul>
2	県産食材の販路拡大活動	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消フェアの推進 (県内直売所や飲食店等へ県産食材を提供、参加店舗629店)</li> <li>メディアを活用した広報PR活動(計21回)</li> <li>県産食材プレゼント企画の実施(1,000名)</li> </ul>